

JETRO

日本貿易振興機構(ジェットロ)からのご案内

「インド」



12億人超と、中国に次ぐ人口を抱える市場と、高い経済成長から新たな成長市場として有望視されているインド、特に所得中間層(家計所得5,000~35,000ドル未満)が人口の半数近くを占めるまでになっています。日系企業の

事業展開も急速に増え、投資対象となる工業団地も増加、地理的には中東、アフリカ、欧州に向けた生産拠点としても可能性が広がっています。



ニューデリーのインド門(第一次大戦戦死者の慰霊碑)

<カルナタカ州に注目>

インド南部のカルナタカ州は、ITで有名な州都バンガロールを擁し、人口6,000万人を超え、2013年の経済成長率は全国平均が4.9%のところ、5.9%(予想値)となっています。バンガロールは海拔920m、デカン高原の南端に位置する高原都市であり、ガーデンシティとも呼ばれ、街路樹が市内に多く植えられ、インド国内でもっとも住みやすい都市といわれています。バンガロールは州のGDPの約1/4に貢献しておりIT産業の他、航空機、自動車・同部品、工作機械、建設機械、バイオ、衣料品まで多彩な産業を抱えています。なかでも、IT産業、航空機産業、バイオではそれぞれインド全体のおよそ3割、工作機械ではおよそ6割、自動車・同部品、建設機械産業ではおよそ2割に寄与しています。200弱ある工科大学から年間4万人以上の技術者が輩出されるといわれています。

日系企業の進出において、カルナタカ州を含むインド南部が他地域と比較しても高い伸びを示し、拠点数では最も多くなっています。在インド日本国大使館とジェットロが発表した「インド進出日系企業リスト」(2013年10月現在、http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/J_cos_list_j_2013_10.pdf)によると、全インドの日系企業数は1,000社を超え、進出企業の国内支店や営業拠点なども含む拠点数でみると2,500超に上り、年々増加をしています。中でも、南部インド(カルナタカ、タミル・ナドゥ、アンドラ・プラデシュ、ケララの各州、プドゥチェリー連邦直轄地)が、1,165拠点となっています。その他の地域も順調に増加しており、日系企業の進出がインド全域に広がっていることがうかがえます。



ニューデリーの地下鉄工事

平成26年夏、三重県はインドに経済産業交流ミッション団を派遣しバンガロールも訪問、カルナタカ州との産業連携を進めるため、ICT、航空機、バイオ関連、自動車産業などを対象とした産業連携にかかる覚書の締結を行いました。今後さらなる両地域間の連携が期待されています。



ニューデリー市内の渋滞

<インド基礎情報>

- ①人口:12億4,334万人(2013年、IMF)
- ②一人当たりGDP(名目):1,505米ドル(2013年、IMF)
- ③実質GDP成長率:4.7%(2013年、インド政府)
- ④消費者物価上昇率:9.7%(2013年、インド政府)

インドに関して必要な情報、ご質問などございましたら、ジェットロ三重(TEL 059-228-2647 FAX 059-228-3185)までご連絡お待ちしております。